

メリバラ訪問団歓迎

友好確認書を取り交わす



9月19日に開かれた歓迎会。友好確認書を取り交わし、今後、一層の相互交流が進むものと期待されます

オーストラリア・クイーンズランド州メリバラにある州立高校「オールドリッジ・ステイト・ハイスクール」の訪問



訪問団はホームステイ先で市民と交流。伝統の「登米(とよま)秋まつり」に参加した女子生徒(中央)もいました【写真提供=河内忠治郎さん(登米町)】

団が9月19日から21日まで本市を訪問。市民らの歓迎を受けました。今回本市を訪問したのは同校の生徒18人と引率教諭ら5人です。一行は19日に宝江ふれあいセンター(中田町)で開かれた歓迎パーティに出席。文化・教育を含めた相互交流を行う友好確認書を市教育委員会と取り交わしました。同校とは、合併前の平成12年に中田中学校の生徒派遣を契機に交流を開始。これまで111人の生徒を派遣してきました。

ロボコン県予選初V

統合前の米谷工、全国へ

来春統合する米谷工業高校が、8月1日に開かれた全国高校ロボコン競技大会(ロボコン)県予選会で初優勝し、全国大会に出場します。全国大会に出場するのは、機械システム科の伊藤大成さん(中田町)と池田流星さん(東和町)、電気システム科の三上凱生さん(中田町)と菅原将希

さん(中田町)。いずれも3年生で、「工業部」の機械工作班に所属しています。「全国大会で活躍し、統合前最後となる米谷工の名を全国にアピールしたい」と意気込む4人。全国大会は11月8〜9日に、利府町の県総合運動公園総合体育館で開催されます。



全国大会に向け、ロボット操作の練習に励む4人(中央は指導する相沢牧彦教諭。競技は2チームの対戦方式でポイントを競います)

10周年の感謝込めて

南方の道の駅でイベント

平成17年3月にオープン、今年10周年を迎えた道の駅みなみかた「もっこりの里」で10月18、19日の2日間、「感謝祭」が開かれました。感謝祭では登米産のなめこ汁が無料でふるまわれたほか、南三陸町歌津のホタテやイカなどの海産物も販売。特設ステージでは「みんなの希

望コンサート」と銘打ち、地元の大鼓やよさこいなどが披露されました。19日には陸上自衛隊音楽隊が登場。中田中学校吹奏楽部と合同演奏したり、映画「アナと雪の女王」の主題歌や東日本大震災復興ソング「花は咲く」などを演奏したりして10周年を盛り上げました。



駐車場いっぱいの観客が見守る中、歌や踊りのパフォーマンスを交え演奏する陸上自衛隊音楽隊

街に再びにぎわいを

登米で「脱出ゲーム」企画

震災で減少した観光客を取り戻そうと、地元の若手経営者ら(梁川貴正実行委員長)が登米町の街中を活用し若者に人気の「脱出ゲーム」を企画しました。ゲームは、会場内に隠されたヒントや暗号を解読し、制限時間内に会場から脱出するというもの。第1弾は10月4

〜13日に開催され、約800人がゲームを体験しました。会場の「海老喜蔵の資料館」を提供した副実行委員長の海老名康和さんは「参加者の反響は上々です」と手応えを感じた様子。第2弾は11月15、16日に町内の教育資料館などを会場に、来春には町全体を会場に開催することです。

火あそびはしません

幼年まつりで防火の誓い



拍子木を打ち元気に「防火の誓い」を述べる豊里保育園の園児たち

「幼年防火まつり」が9月11日、中田総合体育館で開かれ、子どもたちが「火の用心」の心構えを学びました。



北上保育園の園児は、見事な「はしご乗り」を披露し会場を沸かせました

幼年防火まつりは、就学前の子どもたちに火災予防の大切さを学んでもらおうと毎年開催しています。今年で26回目となるこの日は、市内にある32の幼稚園、保育所(園)に通う子どもたち約800人が参加しました。北上保育園の園児による「はしご乗り」や市消防本部職員による寸劇が披露。「防火の誓い」では豊里保育園の園児たちが「僕たち私たちは、皆で火の用心に努めます」と、拍子木を打ちながら元気に声を合わせました。



銀メダル獲得の伊藤さん(中央)。仁川まで応援に駆け付けた家族(右から母洋子さん、父利喜さん、弟雅俊さん)と喜びを分かち合いました

アジア大会ボート銀

迫町出身の伊藤清剛さん

韓国・仁川(インチョン)で開かれた第17回アジア競技大会(仁川アジア大会2014)。ボート競技の男子エイトが9月25日に行われ、日本は中国に次いで2位となり、銀メダルを獲得しました。この男子エイトの一員が、本市出身の伊藤清剛さんです。伊藤さんは迫町(古宿)出

身の27歳。佐沼高校、明治大学を経て現在はNIT東日本に所属しています。中学時代からボート競技で活躍していた伊藤さん。今回、国際大会で大きな結果を残しました。現地で応援した伊藤さんの母洋子さんは「とても興奮しました。頑張ったと褒めてあげたいです」と喜んでいました。